



12月の園だより

令和7年11月28日
杉並区立成田西子供園
園長 齋藤 由美

『表現することを楽しむ子どもたち』

副園長 小森 三奈子

枯葉も落ち、すっかり朝晩が冷え込む季節となりました。先日は、PTA主催の人形劇を見せていただき、ありがとうございました。子どもたちは、ワクワクドキドキしながら、お話の世界に引き込まれ、人形劇団こぼんの人形劇を夢中になって見ていました。

年長組の子どもたちは、人形劇を見たことが刺激となり、すぐに遊びの中で人形劇ごっこをはじめ、年少・年中組の子どもたちを招待して見せてくれました。また、年中組は絵をかいたものを実物投影機に映したり、年長組学級全員の活動では、自分たちで絵をかいてお話づくりをしたりするなど、簡単なお話づくりや絵で表現して見せることを楽しんでいました。その他にも、子供園では、日々様々なごっこ遊びが繰り返されています。ごっこ遊びは、身近な役になりきり、ごっこ遊びに必要なものや場を自分たちで用意したり見立てたりして遊んでいます。そして、ごっこ遊びを通して現実と空想の世界を行き来しながら自分がイメージしたものを表現する楽しさを感じています。

そして今は、年中組と年長組は、学級のみんなでストーリーに沿って自分たちで考えた動きや言葉で表現することを楽しんでいます。子供園の劇遊びは、保育者が決めたセリフや動きを子どもたちに表現させるのではなく、日々の遊びと同じように子どもたちが考えたものを生かして表現することを楽しめるようにしています。

年中組は、「三匹のやぎのがらがらどん」「おおきなかぶ」「ぶたのたね」など、いろいろな絵本を読んで、表現遊びを楽しんでいます。子どもたちがなりたい役を選び、役になりきって動くことや、劇の中で友達と簡単なやりとりをすることを楽しんでいます。

年長組は、子どもたちが学級の友達と相談して、いるか組オリジナルのストーリーができました。また、同じ役同士の友達と衣装やセリフ、動きなどを相談して決め、自分たちで考えたものを表現しています。

先日、ツキヨダケ役の子どもたちが暗い中で、どうやったらツキヨダケがよく光るかを考えていました。ブラックライトの光が当たると白いものが光るということが分かると、白いリボンやカラービニール、京花紙など、いろいろなものにブラックライトの光を当てて、「どっちがより光るかな？」と繰り返し試しながら、自分たちでツキヨダケをつくる素材を考えていました。

幼稚園教育要領には、『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』として10の姿が挙げられています。そのうちの一つ『豊かな感性と表現』では、『心を動かす出来事になどに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる』とあります。

このように劇遊びを通して、子どもたちがお話の世界の面白さに触れ、これまで遊びの中で経験してきたことを劇の中に取り入れて、のびのびと身体を動かしたり、自信をもって言葉を言ったり、歌を歌ったり、表現に必要なものをつくったり、学級の友達と一緒にする楽しさを感じたり・・・と様々な力が育ちます。

12月6日（土曜日）には、年中ぺんぎん組と年長いるか組の「こどもかい」があり、各学年が劇遊びを行います。（3歳らっこ組は、2月にこどもかいを行う予定です。）

子どもたちがつくるお話の世界を楽しみ、成長を感じていただける日になると思います。どうぞお楽しみに！

☆子どもたちの様子と今月のねらい☆

3歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

ドングリやマツボックリを転がしたり、落ち葉を舞い上げたりして秋の自然物を使って遊ぶことを楽しみました。空き箱やペーパー芯などを使って「これがつくりたい」という思いから作ったり、「遠くの人と話すならスマートフォンがほしいね」などと思い付いたものをつくったりする姿が見られています。思いをもってできたものを大事そうにする姿、他の子がその様子を見て同じようにつくってみようとする姿があります。

今月は自分なりにつくったものを見立てたり、身に付けてなりきったりする中で、思ったことやイメージしたことを簡単な言葉や動きに表す楽しさを味わえるようにします。また、寒さが厳しくなっていきますが、園庭や散歩先でたくさん体を動かして遊ぶ機会をもつようにします。

☆今月のねらい☆

- 好きなものになりきったり、見立てたりして自分のイメージを表現して楽しむ。
- 保育者や他の幼児と一緒に体を動かしたり、触れ合ったりする楽しさを感じながら学級の活動に参加する。
- 上着の着脱や冬の生活の仕方が分かり、自分でできることをしようとする。

◆おすすめ絵本◆

『もりのおふろ』 西村敏雄／作 福音館書店

『ほげちゃん』 やぎたみこ／作 偕成社

4歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

映画館をつくりたい、ロボットをつくりたい等、具体的に自分のやりたい遊びを見つけて向かっていくことが楽しくなってきた子どもたち。自分の思いを形にしていこうと楽しんでいます。また、友達のしていることにも関心をもつようになり、見て真似たり、一緒に遊びに入って世界を楽しんだり友達とつながって遊ぶこともうれしくなっています。少しずつ見える世界が広がり、できることが増えることで少しずつ自信がついてきている子どもたち。こどもかいに向けての取り組みでも、友達や先生と一緒に活動に取り組む中で簡単なストーリーの流れが分かり、のびのびと表現する楽しさを感じ、一人ひとりが自信をもてるようにしていきます。

☆今月のねらい☆

- お話の世界を楽しみながら、動物になりきって表現することを楽しむ。
- 自分の思いや考えを相手に伝えながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 園生活の中で必要なことの意味が分かり、自分からしようとする。

◆おすすめ絵本◆

『おたすけこびとの クリスマス』 なかがわちひろ／文 コヨセ・ジュンジ／絵

『ハリーのセーター』 ジーン・ジオン／作 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵

5歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

こどもかいに向けて、それぞれが思いや考えを出しながら意欲的に取り組む姿が見られます。いるか組は、学級の皆で創作したお話を劇にしていこうとしました。一人ひとりが自分の役になりきって、自信をもって表現することや、「劇をしよう」という共通の目的に向かって仲間と考え合う経験ができるように支えています。

園庭では、ドッジボールや鬼遊びなども自分たちの遊びの中で繰り返し楽しんでいます。気温が下がってきても、外で思い切り体を動かすことが楽しめるようにします。また、冬ならではの製作や季節の行事も、遊びの中で楽しめるようにしていきます。

☆今月のねらい☆

- 共通の目的に向かって工夫や協力、分担などをしながら遊びに取り組み、達成感を味わう。
- 季節の変化に関心を持ち、遊びや製作に取り入れたり、調べたりする。
- 生活に見通しを持ち、友達と一緒に進めていく。

◆おすすめ絵本◆

『しろくまのクリスマス』 ヘンリエッタ・スティックランドポール・スティックランド／作・絵 金の星社

『くろうまブランキー』 伊東三郎／作・堀内誠一／絵 福音館書店